

令和元年度第2回研究評価委員会（放射線安全規制研究戦略的推進事業）

議事概要

1. 期 間 令和元年11月11日（月）～11月15日（金）

2. 開催方法 書面審議

3. 出席者

外部有識者（五十音順）

占部 逸正	学校法人福山大学 工学部情報工学科 教授
小田 啓二	国立大学法人神戸大学 副学長
二ツ川 章二	公益社団法人 日本アイソトープ協会 常務理事
吉田 浩子	国立大学法人東北大学大学院 薬学研究科 ラジオアイソトープ研究教育センター 准教授

4. 議 事

- (1) 放射線安全規制研究戦略的推進事業における研究評価委員会の構成員について
- (2) 令和元年度放射線安全規制研究戦略的推進事業に係る中間評価について

5. 配付資料

資料1 放射線安全規制研究戦略的推進事業における研究評価委員会の構成員について

資料2 令和元年度放射線安全規制研究戦略的推進事業に係る中間評価について

参考資料1 研究評価委員会に関する設置運営要領

参考資料2 採択課題の評価について

6. 議事要旨

- 今回の会議では、委員の日程調整が困難等、緊急やむを得ない事情があると認められる。そのため、研究評価委員会に関する設置運営要領（令和元年6月26日研究評価委員会）第五条第3項に基づき、会議に係る書類の回覧をもって、会議に代えることとした。

- (1) 放射線安全規制研究戦略的推進事業における研究評価委員会の構成員について
- 書面による審議の結果、研究評価委員会に関する設置運営要領（令和元年6月26日研究評価委員会）（参考資料1）第三条第2項の規定に基づき、研究評価委員会の構成員を追加することについて委員全員の賛成を得た。なお、本議題は本委員会の人事に係る案件のため、「放射線安全規制研究戦略的推進事業における研究評価委員会の構成員について」（資料1）は公開しないこととした。
- (2) 令和元年度放射線安全規制研究戦略的推進事業に係る中間評価について
- 書面による審議の結果、中間評価を実施するに当たり、研究課題の研究代表者から事前に提出される評価票（自己評価）及び成果報告会における研究代表者の報告に含むべき事項等として委員より次のような意見が出された。
 - ・ 現在までのロードマップにおける研究の到達点やネットワークの拡大状況、経費の支出状況を数値等で明確に示すこと。（二ツ川委員）
 - ・ 研究計画に変更が必要になった場合は、変更になった理由、当初計画の妥当性の評価について明確に示すこと。具体的には、規制状況の変化やこれまでの事業活動を踏まえて、今後の研究推進にあたっての課題や問題点及びそれらを解決するためにどうするかを提案を評価票（自己評価）に記述するとともに、成果報告会における研究代表者の報告にも含めること。（二ツ川委員、占部委員、吉田委員）
 - ・ 最終的な研究成果としてまとめるにあたり、現時点においてこの成果を今後の規制の在り方にどのように生かせるかについて道筋を明確に示すこと。（二ツ川委員）
 - 今後、研究評価委員会事務局は上記の意見を研究代表者に周知し、研究課題の研究代表者から事前に提出される評価票（自己評価）及び成果報告会における研究代表者の報告に反映されるように努める。

以上